



▲ブロックが美しい「奏の庭」



▲工事へも一役（虹をイメージしたインターロッキングブロックを設置しました。8/27）



▲大賞の表彰を受けた菅野夏美さん（左）と鎌田華恋さん

スクールバス待合所愛称入賞者

【大賞】

菅野 夏美さん 「和場（なごみば）」
鎌田 華恋さん 「ばすすとっぷ」

【入賞】

西内 楓 さん 「バスストップ」
佐藤 安紀さん 「バスストップ」



▲「ばすすとっぷ和場（なごみば）」
これからは、待合所の中で快適にバスや家の迎えを待つことができます

9/7

たすきリレーで目指せ優勝

飯館中学校女子駅伝が県大会に出場



▲左から高橋夏美さん、小林希美さん、鳴原明沙菈さん、菅野結佳さん、佐藤ひろさん、林澤さん、高橋杏奈さん、佐藤ちさきさん

南相馬市馬事公苑集会コースで行われた第53回福島県中学校体育大会駅伝競走大会相双支部合同予選会で飯館中学校が女子の部22校中4位に入賞し、県大会出場を決めました。

飯館中学校の県大会出場は4年ぶりです。主将の鳴原明沙菈さん（比叡）は、「4年ぶりの県大会出ということで緊張や不安はありますが、みんなで協力し、頑張りたいと思います。」と抱負を語ってくれました。

県大会は、10月5、6日の2日間同会場で行われます。



「奏の庭」が完成

9/24

飯館中学校「奏の庭」竣工式

飯館中学校「奏の庭」の竣工式が飯館中学校3年生で組織する「やったね実行委員会」の主催で行われ前庭工事の完成を祝いました。

中学校前庭整備は、現在の中学3年生が1年生だった2年前に、村長と懇談したときに生徒から発案されました。昨年度全校生を対象に、デザインコンテストを行い、その優秀デザインを元に設計され3年間にわたるプロジェクトがここに完結しました。

前庭は、やったね実行委員会が「奏の庭」と名づけ、また、愛称を募集したスクールバス待合所は「ばすすとっぷ和場（なごみば）」と命名されました。

「やったね実行委員会」が主催した竣工式では、実行委員会会長の高橋寿熙さんが、「みんなが集まって楽しい学校生活がおくれるようにとの思いから『奏の庭』と名前をつけました。これからは天候を気にせず登下校ができます。」とあいさつを述べました。



▲記念碑除幕のようす



▲実行委員長高橋寿熙さん（長泥）によるあいさつのようす

子育て相談室

— お気軽にご相談ください —

父親力 その4

父親力の本質は父性です。父性とは「まとめあげる、理念を示す、文化を伝える、社会のルールを考えること」（林道義）を意味します。まとめあげるとは家族を統合する力です。

これは父親が家族の中心にいて家族を一つにまとめていく力です。そのためには、理念が必要です。理念とは家族の生きる方法を示す理想であり価値観であると思います。

ちなみに、母性とは「子どもを産み育てる過程で働く受容的なやさしい心の動き」（林道義）ということです。簡単に言えば、父性とはきびしさ、母性とはやさしさです。主として、父性は父親に、母性は母親にあると言われていますが、実は父性も母性も一人の人間の中に同居しているのです。父親はきびしさ優先、でもときにはやさしさを示すことが大切です。母親はやさしさ優先ですが、折々にきびしさの表現も必要です。

現代社会の子育てにおいて、父親が特に気をつけなければならないこと、それは家庭の中で、父親が二人目の母親にならないようにすることです。これこそ致命的な父親力の喪失です。飯館村の父親力を信じます。

飯館中学校スクールカウンセラー
海野 和夫

○教育相談は飯館中学校（☎42-0008）へ電話でお申込みください。